

# ドライブレコーダー付 7インチワンセグテレビ KH-ATV700DC

## 取扱説明書

Ver 1.0



- この度は、KH-ATV700DCをお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。
- ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しく理解されてからお使いください。
- お読みになった後は、本書をいつでも見られる所に大切に保管してください。
- 最終ページに保証書が付いています。お買い上げ日、販売店名の記載もしくは同内容の記載された書類とともに大切に保管してください。

※本製品には、ドライブレコーダー用microSDカード8GB(クラス6)が付属(装着)されています。フォーマット作業を行ってからご使用ください。

# ご使用上の注意

ご使用前に、必ず本書および付属の説明書をお読みいただき正しくおつかいください。

## ご注意！

### 〈〈内蔵リチウムイオン充電式バッテリーについて〉〉

- 炎天下や火のそばなどの60℃以上になる高温の場所では使用したり放置したりしないでください。

リチウムイオンバッテリー内部で異常な化学反応が起こり液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。

- 強い衝撃を与えたり、鋭利なもので刺したり叩いたりしないでください。

リチウムイオンバッテリーが破裂や変形したりガス漏れなどにより、液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。

- 充電温度範囲は0～45℃で行ってください。

リチウムイオンバッテリーが急激に加熱されたり密閉状態が保てなくなり、液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。また、バッテリー性能の低下や寿命が短くなることがあります。

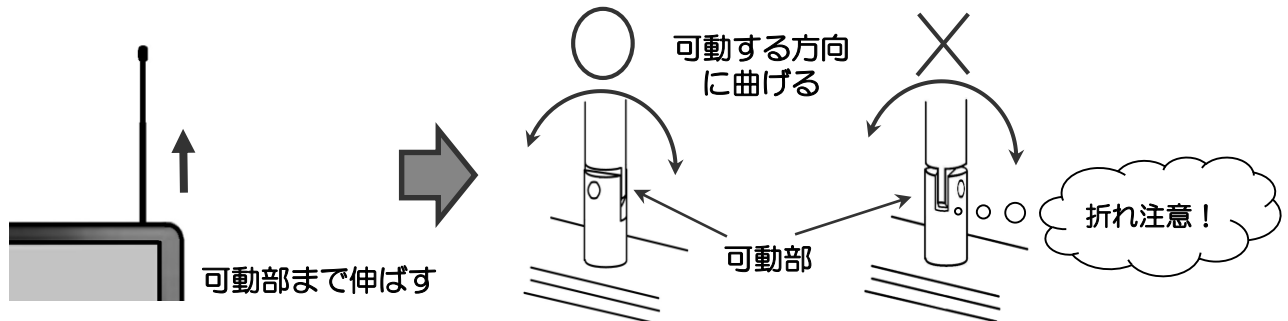
炎天下の車内や直射日光の強いところなど高温になるところで使用したり放置したりしないでください。

ご使用後は、取り外して日陰など60℃以下のところで保管してください。

## ご使用になる前に

### <アンテナ折れに注意！>

アンテナは無理に動かさないでください。  
可動可能な方向以外に曲げた場合、折れる恐れがあります。



### <<液晶画面の残像について>>

液晶画面の特性上長時間静止画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像（焼き付きのような症状）が発生する場合があります。

液晶画面の残像を防ぐには

- ・メニュー画面のような静止画像を長時間つけたままにしないでください。
- ・すぐに使用しない場合は、画面を消すか明るさを控えめにしてください。

液晶画面に残像が残ってしまった場合、しばらく動きのある動画を再生すると徐々に消えてなくなります。

### <<SDカード、車載用DCアダプターについて>>

- SDカードの必要以上の抜き差しはおひかえください。抜き差しする場合はSDカードの端子部（金属部）には触れないでください。

（故障の原因となります）

- 車載用DCアダプターの必要以上の抜き差しはおひかえください。

（故障の原因となります）

抜き差しを行う際は、まっすぐに抜いてください。ねじったりすると故障の原因になります。

- 車載用DCアダプターやコードを必要以上に動かしたりさわったりしないでください。（接触不良の原因となります）

- 付属の車載用DCアダプターはDC 12VからDC 24Vまで使用可能です。DC 12V車、DC 24V車のシガープラグへ直接接続してください。

- 電圧変換器（DC-DCコンバーター等）を使用すると故障の原因になることがあります。

電圧変換器などのご使用によって発生した不具合については当社はその責任を負いかねます。

## <<車両でのご使用の注意>>

- 安全のため運転中の操作および画面の注視はしないでください。
- 車載スタンド設置する場合、運転の視界の妨げにならない位置に設置してください。また、必ず運転する前にしっかり固定されていることを確認してください。

## <<ドライブレコーダーについて>>

- 記録された映像は事故検証としては補佐的なものです。証拠として効力があるとは限りません。
- 衝撃などで映像が記録されない場合があります。
- 本製品は、記録データをmicroSDカードに記録しています。  
microSDカードの状況により動画の画像欠落等の不具合が起こる場合があります。
- お車により、画像の揺らぎ、ゆがみ等が発生する場合があります。

## <<ドライブレコーダー用microSDカードについて>>

- 本製品にはドライブレコーダー用のmicroSDカード8GBクラス6を付属(装着)しています。抜き差しする際は入れ間違いの無い様注意願います。

### <注意>

音楽、動画、写真等の入ったカードをドライブレコーダー側に入れると消去されます。

## <<ドライブレコーダーのフォーマットについて>>

- ドライブレコーダー機能をご使用前にmicroSDカードを本機でフォーマットしてください。

(本体操作説明書の25ページの「microSDカードの設定(フォーマット)」参照)

### <フォーマット時の注意>

- ・フォーマットの際は、必ず付属のDCアダプターで電源通電して行ってください。
  - ・フォーマット中は途中で電源を切ったり他の操作を行ったりしないでください。
- ※途中で電源が切れたり強制的に終了した場合microSDカードが壊れることがあります。

## ~~こんなとき~~

### ◆タッチパネルがうまく動作しない。

液晶パネルに貼ってある透明の保護フィルムをはがしてください。

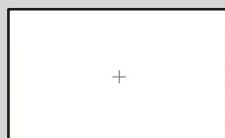
### ◆画面が真っ白になる。(画面のポイント補正モードになる)

画面のタッチパネルのタッチ位置の補正の画面になっています。

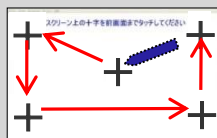
画面補正を行ってください。

※必ず付属のスタイラスペンのような先の細いものでタッチしてください。

指のように接触面積が広いと、タッチ位置が読み込めず何度も繰り返すことがあります。



白画面になったとき



「+」を順に  
長押しする

## 初めてお使いになるときに ～初期設定について～

### ＜＜パネルの保護フィルムについて＞＞

ご使用になる前に輸送用保護フィルムは剥がしてください。

- 貼ったままでは画面上に縞模様がでたりタッチスイッチの動作不良になることがあります。

### ＜＜テレビの設定＞＞

テレビをはじめてご覧になる前に、

チャンネル設定（スキャン操作）を必ず行ってください。

- スキャンは受信環境の良いところでしばらく静止して安全を確認の上、スキャンしてください。※詳しくは16～17ページをご覧ください。

### ＜＜お車への取付＞＞（運転の前に必ず確認してください。）

・お車への取付の際は、視界を確保した上しっかりとゆるみのないことを確認してください。※詳しくは10～13ページをご覧ください。

・直射日光の当たる場所などに長時間放置しないでください。

夏場など高温時に長時間放置していると、スタンドの吸着力が弱くなったり、本体製品やスタンドなどの変形により落下してけがをしたり、故障の原因となることがあります。しばらくお使いにならない場合は、取り外して日のあたらない場所に保管してください。

### ～～こんなとき～～

#### ◆電源がはいらない。

充電が0になると電源コードをつないでも電源がはいりません。

その際は電源コードをつないで一時間以上充電後電源をいれてください。

しばらく画面が立上りますが、電源をOFFして充電をしてください。

（製品電源がON状態で充電をすると、フル充電するまで時間がかかります）




# 目次

1. 安全上のご注意	-----1
2. 使用上のお願い	-----5
3. 付属品	-----7
4. 各部の名称	-----7
5. リセット機能	-----9
6. 車への取付け	-----10
7. 本体電源の取扱方法	-----15
8. ワンセグTV	-----16
8-1. チャンネル設定（スキャン操作）	-----16
8-2. ワンセグTVをみる	-----18
8-3. ワンセグTVの各種設定	-----18
8-3-1. 設定「チャンネル」	-----19
8-3-2. 設定「基本設定」	-----19
8-3-3. 設定「ビデオ」	-----20
8-3-4. 設定「情報」	-----20
8-4. ワンセグTV（EPG番組表）	-----21
8-5. ワンセグTV 録画／再生	-----22
9. ドライブレコーダー（Dレコーダー）	-----23
9-1. ドライブレコーダー設定	-----24
9-2. 録画の準備	-----25
9-3. 録画をする	-----26
9-4. 再生する	-----27
10. メディア	-----30
10-1. 動画	-----31
10-2. 音楽	-----32
10-3. 写真	-----33
11. 設定	-----34
11-1. ボリューム設定	-----34
11-2. バックライト設定	-----35
11-3. 日付・時間設定	-----35
11-4. タッチ画面補正設定	-----36
11-5. ファクトリーリセット	-----36
11-6. 言語設定	-----37
11-7. システム設定	-----37
12. 仕様	-----38
13. 困ったときには	-----39
お問い合わせ先	-----巻末
保証書	




# 1. 安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

## ■表示の意味

表示	表示の意味
 注意	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負う可能性が高いことを示します。
 警告	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が傷害(*2)を負う、又は物的損害(*3)の発生が想定されることを示します。
 危険	この表示を無視し取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されることを示します。

## ■図記号の意味

図記号	図記号の意味
 禁止	“⊘”は、禁止(やってはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	“●”は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	“△”は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

\*1 :重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、骨折、中毒、感電などの後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

\*2 :傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

\*3 :物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

## 異常を感じたとき

### 警告

●煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと



プラグを抜く

●内部に水や異物がはいたら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと



プラグを抜く

●落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと



プラグを抜く

●電源コードが傷んだり、プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認しお買い上げの販売店又はサポートセンターにご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店又はサポートセンターに点検をご依頼ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店又はサポートセンターに点検をご依頼ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店にまたはサポートセンターに交換をご依頼ください。



## 使用するとき

- 修理・分解・改造しないこと



分解禁止

火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはサポートセンターにご依頼ください。

- 内部に異物を入れないこと



異物挿入禁止

針やクリップなどの金属類、紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災や感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 雷が鳴り出したら本機や電源プラグに触れないこと



接触禁止

火災・感電の原因となります。

- 水に濡らしたりしないこと



水ぬれ禁止

火災・感電の原因になります。飲み物をこぼしたりしない。また雨天、降雪時や海岸、水辺でのご使用時は特にご注意ください。

- 歩行中や乗り物を運転しながらの使用時は周囲の安全を十分注意し直視しないこと



禁止

交通事故の原因となります。

## 注意

- ヘッドホン、イヤホン等をご使用になるときは音量をあげすぎないこと



禁止

大きな音量で聞くと聴覚機能に悪影響をあたえることがあります。

- 電源を入れる前には音量を最小にすること、外部接続時はその音量を最小にすること



指示

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

- 液晶画面の破損により液体が漏れてしまった場合、液体を吸い込んだり飲んだりしないこと



禁止

中毒をおこすおそれがあります。万一、目や口に入った場合は、水で洗い医師の診察を受けてください。

## 設置するとき

- 屋外や風呂、シャワー室など水のかかる恐れのある場所には置かないこと



風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

## 警告



- ぐらついたり傾いた所など不安定な場所や振動のある場所には設置しないこと



禁止

本機が落下して、けがをしたり、故障の原因となります。

- ひざの上などで使用するなど上に肌にふれないこと



禁止

低温やけどの原因となります。  
(低温やけどは体温より高い温度のものを長時間あてていると発生するやけどです。)

## 注意

- 温度の高い場所に置かないこと



禁止

直射日光の当たる場所・締め切った車内、ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因および破損、部品の劣化となることがあります。

- 湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと



禁止

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災や感電の原因になります。

- 風通しの悪い場所で使用しない



禁止

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。また、温度上昇により、動作不安定になることがあります。

- 本機の移動させる場合は、電源アダプターやその他外部接続線ははずすこと



指示

配線を抜かずに運ぶとコードが傷付き火災・感電の原因となったり、落下によるけがの原因となることがあります。

## 車載用DC電源接続アダプターについて

### 警告

- DCアダプターを分解、改造、修理しないこと



分解禁止

火災・感電の原因となります。

- DCアダプターは付属のものを使用すること



禁止

指定以外の電源接続コードを使用すると、火災・故障の原因となることがあります。

- DCアダプターのコードは下記注意してください。

- ・傷付けたり、加工したり、加熱したりしないこと
- ・引張ったり、重いものをのせたりはさんだりしないこと
- ・無理に曲げたりねじったり束ねたりしないこと



指示

火災・感電の原因となります。

- DCアダプターはDC12V～24V対応です。電源変換器は使用しないこと



禁止

電圧変換器（DC-DCコンバータ）を使用すると故障の原因になることがあります。

- 時々電源プラグを抜いて接点をきれいに掃除すること



指示

電源プラグの絶縁低下により火災の原因になります。



## 注意

- ぬれた手でアダプターを抜き差ししないこと



指示

感電の原因になります。

- 電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと



指示

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。プラグを持って抜いてください。

- 旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと



プラグを抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

- 付属の電源アダプターを本機以外の他の用途に使用しないこと



禁止

本機以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込むこと



指示

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

## 2. 使用上のお願い

### 取扱いについて

- 液晶画面を傷つけたり衝撃を与えたりしないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。カバンに入れたり、体に身につけたりした場合にも十分ご注意ください。
  - 引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、梱包材を使用し振動が伝わらないように、また外観や液晶パネルが傷がつかないようにしてください。
  - 殺虫剤、芳香剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり塗装がはげるなどの原因となります。
  - 長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
  - 長期間使用しないとき機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて使用してください。
- ※液晶、タッチパネルの破損は補償対象外となりますのであらかじめご了承ください。

### 置き場所について

- 直射日光のあたる場所、熱器具の近く、締め切った車内など温度が高くなる場所に置かないでください。変形、変色、故障や発火の原因となります。  
しばらくお使いにならない場合は、取り外して日のあたらない場所に保管してください。
- 本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

### お手入れについて

- 本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。  
ベンジン、シンナー、アルコール等の有機溶剤は絶対使用しないでください。  
割れたり変色したり塗装はがれの原因となります。
- 液晶画面についたよごれなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

### メモリーカード（microSDカード）について

- メモリーカードの容量やメーカーによっては、再生できない場合があります。  
対応していない種類のメモリーカードを本機に挿入しないでください。未対応のメモリーカードを挿入した場合、本機およびメモリーカードが故障・破損するおそれがあります。
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをお勧めします。本機でメモリーカードを使用することによって、万一何らかの不具合が発生した場合でも、データの損失や記録できなかったデータの保障、およびこれらに関わるその他の直接または間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 抜き差しする場合には、メモリーカードの端子（金属部）には触れないでください。
- メモリーカードの取扱いかたについては、各メモリーカードの取扱説明書をご覧ください。
- 通常のご使用でデータが破損（消滅）することはありませんが、誤った使い方をするとデータが破損（消滅）することがあります。記録されたデータの破損（消滅）については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メモリーカードを本機に差し込むときは、上下（表裏）の向きに注意して、最後までしっかりと差し込んでください。

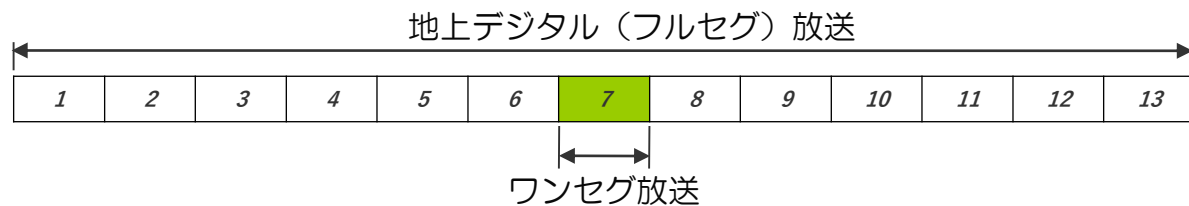
- メモリーカードは精密部品です。折り曲げたり、落としたりなどの無理な力や強い衝撃を与えないでください。
- 強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。
- 高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。
- メモリーカードの金属部(金色の部分)にゴミや異物につかないように、また手で触れないように注意してください。
- メモリーカードを持ち歩いたり、保管をするときには静電気防止ケースに入れてください。
- 直射日光があたるところや、ストーブやヒーターなど熱源のそばに放置すると破損、故障の原因になることがあります。
- ズボンやスカートのうしろポケットに入れたまま、座席やイスなどに座らないでください。破損、故障の原因となります。
- 本機から取り出したメモリーカードが熱くなることがありますが、故障ではありません。
- メモリーカードには寿命があります。長時間使用するうちに書込みや消去ができなくなった場合には、新しいメモリーカードをお求めください。

## テレビ受信について

- ご購入後、はじめてテレビをお使いになる場合必ずスキャン操作をしてください。スキャンは使用する地域で受信可能な放送局を記憶させる操作で、テレビを視聴するために必ず行なう設定です。
- スキャン操作ははじめて使用する時以外にも移動や引っ越し等で受信可能な放送局が変わる場合や、ご使用の地域で新しい放送が開始された場合等にも再度設定する必要があります。
- 本製品のテレビ機能は日本国内の地上デジタル放送を受信するためのものです。海外ではご使用になれません。
- 建物の陰や窓際から遠い室内や地下等では電波が届かないため放送を受信することができません。また、屋外でも電波が弱い場所では受信できない場合があります。

### <<ワンセグとは>>

「ワンセグ」は地上デジタル放送のひとつで、移動中でも受信できるサービスです。地上デジタル放送は1チャンネルの帯域幅内で13個のセグメントに分割し使用しています。そのうち一つのセグメントを利用して放送していることから「ワンセグ」と呼んでいます。詳しくは社団法人デジタル放送推進協会（Dpa）のホームページ（<http://www.dpa.or.jp/>）をご覧ください。放送エリアのめやすは（<http://dpa-tv-area.jp//>）にてご確認ください。



フルセグに比べ、ワンセグはデータが軽いため弱い電波でも受信が可能で高速移動中でも広範囲で受信が可能です。

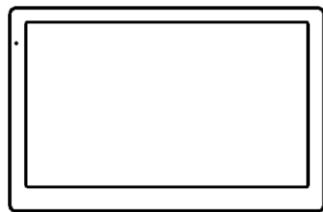
### ワンセグについての注意

放送エリア以外の地域では視聴できません。必ずご使用する地域で放送局のスキャンをして受信できる放送局を設定してください。放送エリア内でも、周囲の地形や建物などにより電波が届かない場所やトンネル、建物内などでは受信できないことがありますのであらかじめご了承ください。受信状況が最も良くなるようにアンテナの設定を調整してください。

# 3. 付属品

本機を使用する前に、本体および付属品の確認を行ってください。

① 本体



② 車載用DCアダプター



③ 車載用吸盤スタンド  
(スタイラスペン付)



④ 吸盤ベース板



⑤ 取扱説明書



⑥ スタイラスペン  
(車載用吸盤スタンドに装着)



スタイラスペン  
(スタンド裏面)

※イラスト、画像が実物と異なる場合があります。

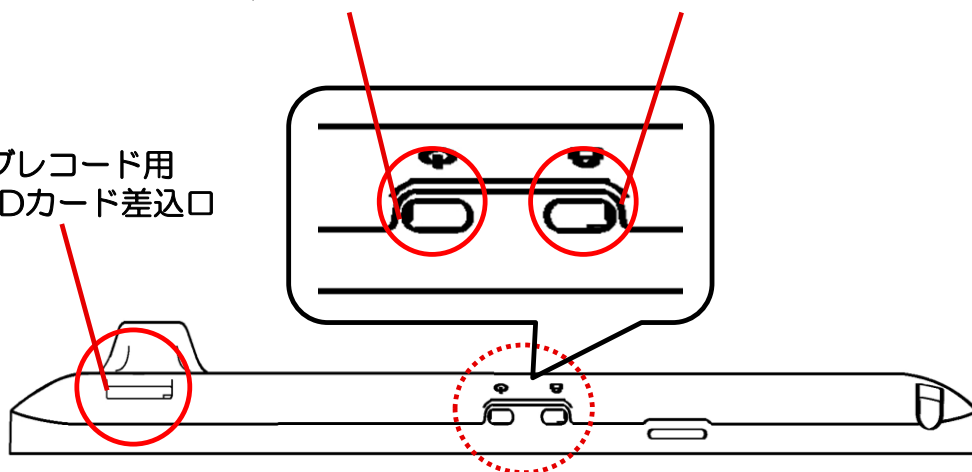
# 4. 各部の名称

【上面図】

① 電源ボタン  
(長押し)

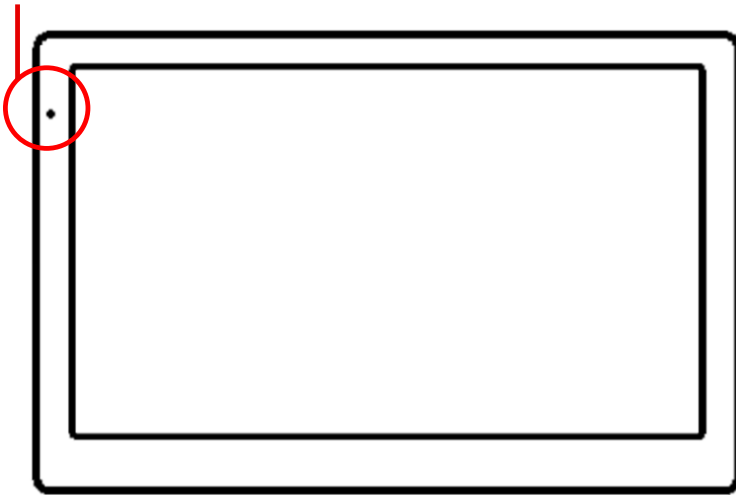
② 上書き禁止ボタン  
(ドライブレコーダー用)

③ ドライブレコード用  
MicroSDカード差込口



## 【正面図】

④電源ランプ

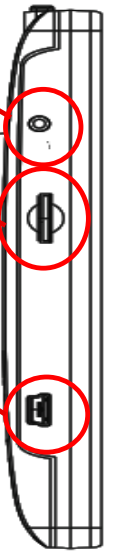


## 【左側面図】

⑤イヤホンジャック

⑥メディア用  
MicroSDカード  
挿入口

⑦ミニUSBポート  
(充電用)



## 【裏面図】

アンテナ

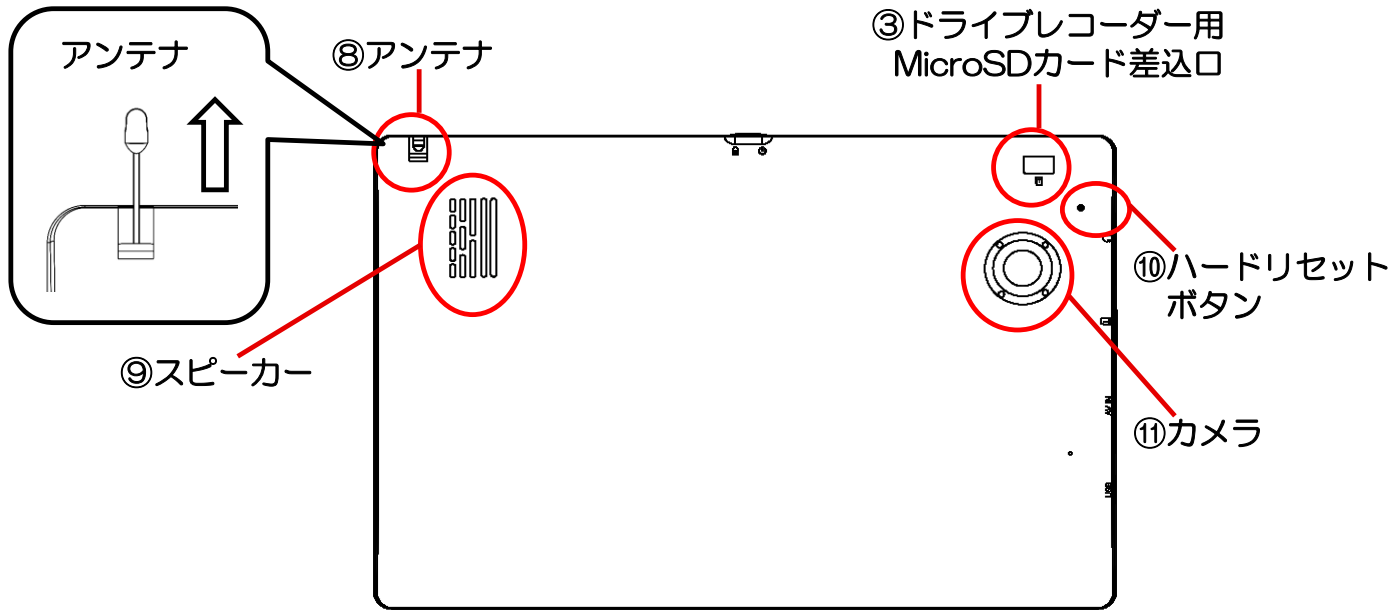
⑧アンテナ

③ドライブレコーダー用  
MicroSDカード差込口

⑩ハードリセット  
ボタン

⑪カメラ

⑨スピーカー



## <注意>

MicroSDカード挿入口が2ヶ所あります。入れ間違いの無い様、十分に注意願います。

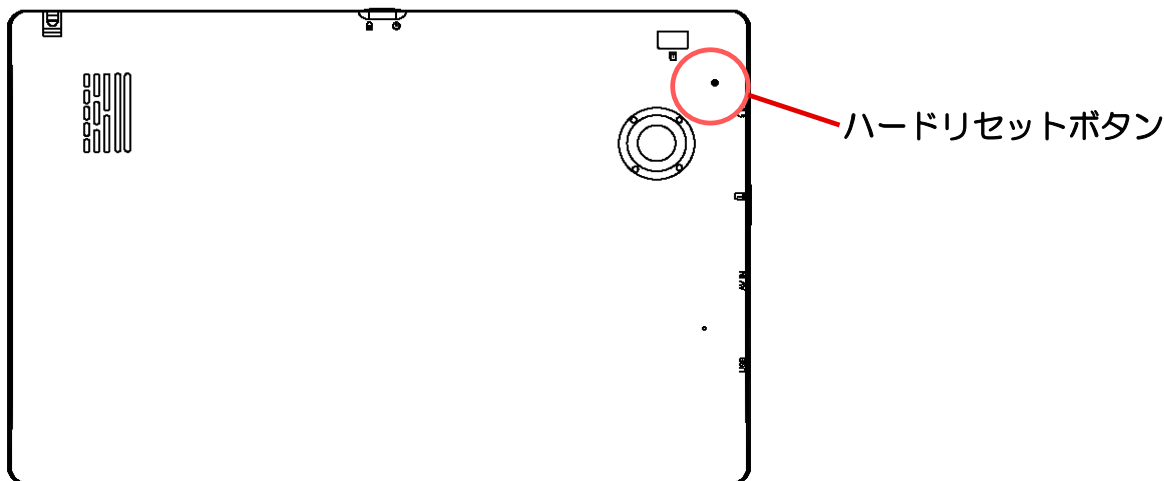
メディア用MicroSDカードをドライブレコーダー用挿入口に挿入するとメディアデータが消去されることがあります。



# 5. リセット機能

## 【ハードリセット】

本機になんらかの障害が発生しハードリセットを行う場合は、細いペンやクリップ等でハードリセットボタンを軽く押し、リセットを行ってください。



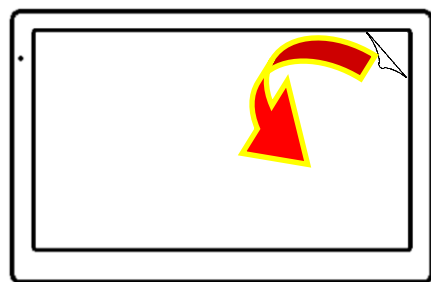
※メニュー操作中などなんらかの原因で画面がフリーズしてしまった場合は、かならず上記のハードウェアリセットを行ってください。

## パネルの保護シート（フィルム）について

出荷時に液晶パネル面に製造時および輸送時のキズ防止のために、保護シートが貼られています。

**ご使用になる際は、剥がしてお使いください。**

貼ったままにしていると、画面上に縞模様がでたり、タッチパネルのタッチスイッチの動作不良になることがあります。



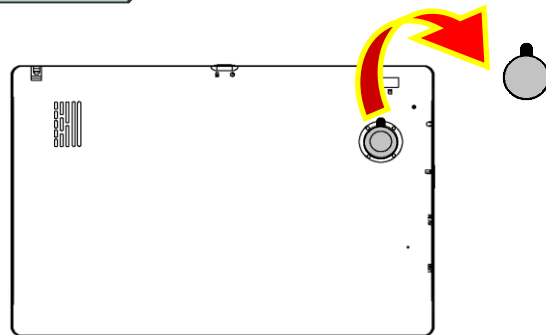
保護シートをはがす。

## カメラレンズの保護シート（フィルム）について

出荷時に裏面のカメラレンズ部に製造時および輸送時のキズ防止のために、保護シートが貼られています。

**ご使用になる際は、剥がしてお使いください。**

貼ったままにしていると、録画画面が曇ったり、ゆがんだりします。



保護シートをはがす。



# 6. 車への取付け

## 前方視界基準について

国土交通省の定める道路運送車両の保安基準に従って、運転中に前方の視界や、エアバックなどの妨げにならないようにダッシュボード上などに取付けてください。

### 前方視界基準

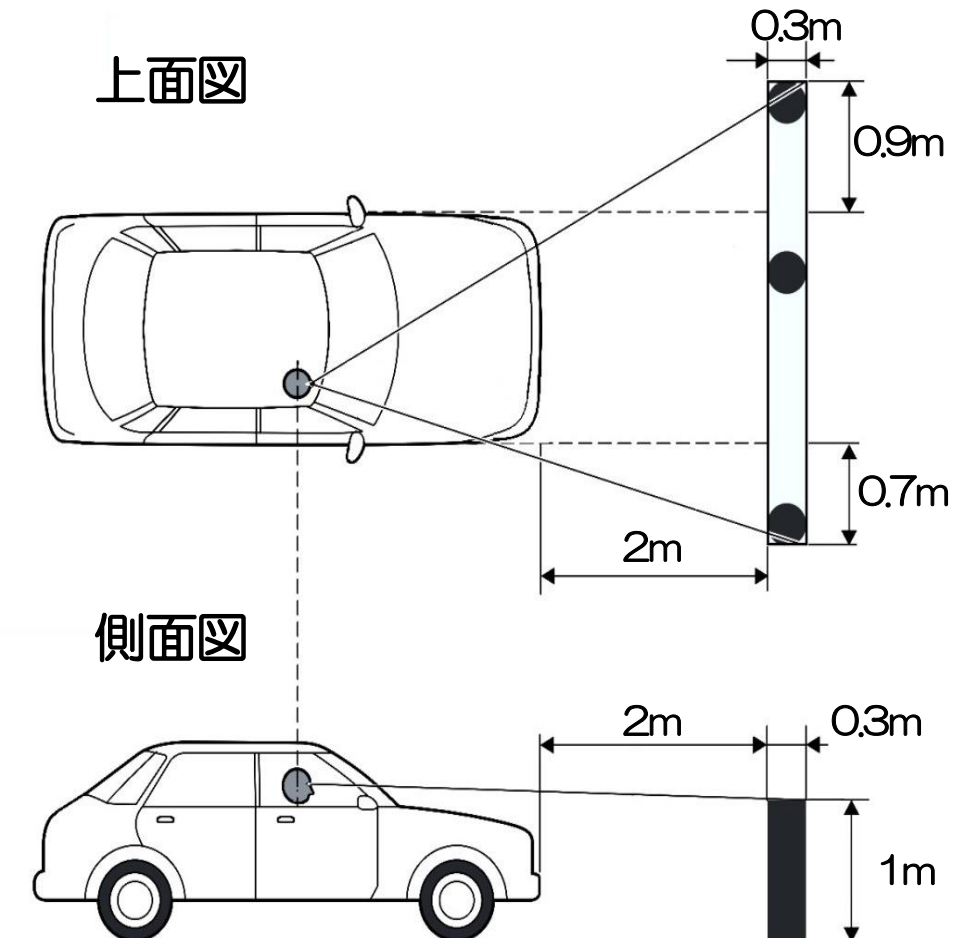
#### ●対象車両

専ら乗用の用に供する自動車（乗車定員11人以上のものを除く。）

車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車

#### ●基準概要

自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱（6歳児を模したもの）を鏡等を用いず直接視認できること。



※図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合は、左右が逆になります。

## 取付けについてのご注意

- 付属のスタンドを使用してください。
- エアーバックカバー部及び作動時の妨げになる場所には取付けないでください。  
(取付けについては安全を考慮して、ディーラーや販売店にご相談ください。)
- フロントガラスには取付けないでください。
- スタンドを取り付ける際は、凹凸の無い平らな面をお選びください。
- 柔らかい材質、布製、革製の面には取付けできません。
- 下記のような場所には取り付けないでください。

※スタンドが落下するおそれがあります。

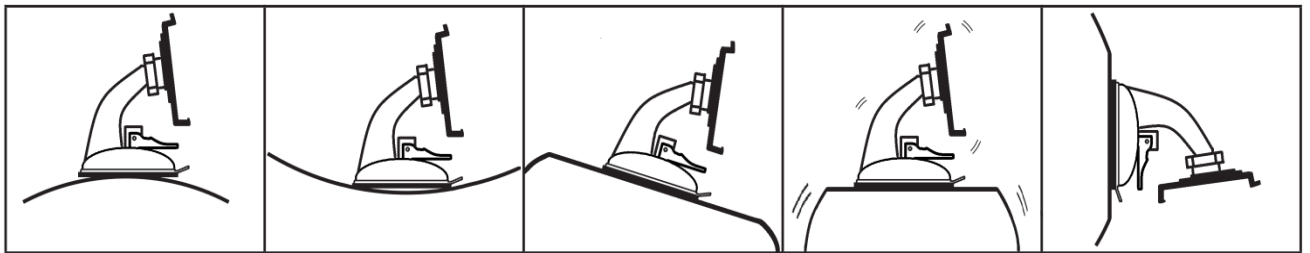
・密着しない曲面  
例)凸面

・密着しない曲面  
例)凹面

・傾いた面

・不安定な面

・垂直な面



- ダッシュボード上に吸着ベース板を貼る際は、前方視界を十分に確保でき  
安全基準を満足できる位置を決定後貼り付けてください。
- 吸着ベース板を貼り付ける前にワンセグTV用アンテナを伸ばしフロントガラス  
等にあたらないことを確認してください。
- 吸着ベース板を貼付け位置が決定したら、貼付け面のほこりや油分などを十分に  
ふき取ってから貼り付けてください。
- 両面粘着テープの貼付けは一回のみです。貼り直しはしないでください。  
(貼付け強度が極端に落ち、落下の恐れがあります。)
- 両面粘着テープは貼付け直後は接着強度が弱いため、24時間以上おいてから  
製品を取り付けてください。
- 両面粘着テープを剥がすときは、強力な粘着テープを使用しているため、  
貼付け面を傷めたり、破れたりすることがあります。
- ご使用になるまえに、吸盤、ロック、粘着テープ等が確実に取付いていることを  
確認してからご使用ください。
- 直射日光の当たる高温になる場所に長時間放置しないでください。  
発火、変形、劣化による落下の原因になることがあります。
- ドライブレコーダーを使用されるときは、ドライブレコーダーモードにして  
映像範囲と画面の視認角度を調整の上、設置位置をお決めください。

### 《注意》

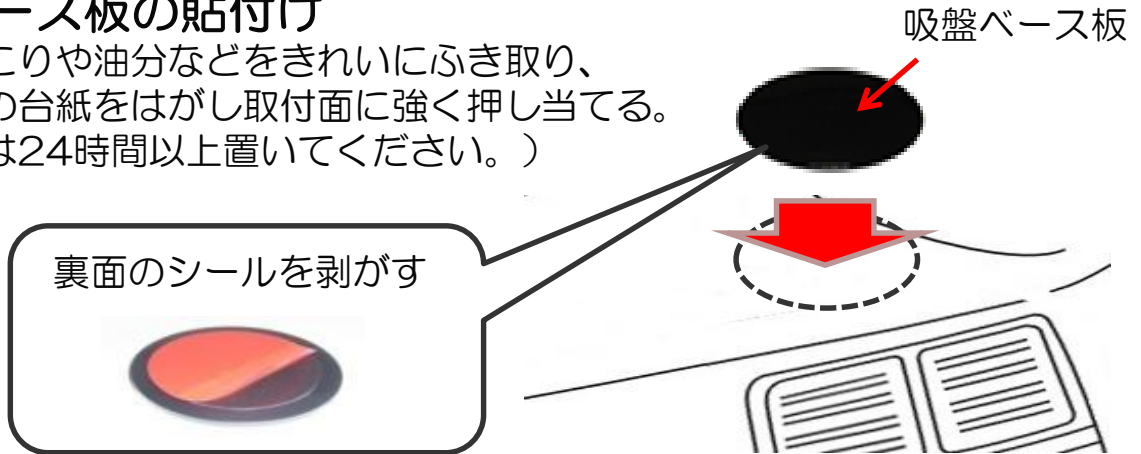
ダッシュボードの上など直射日光の当たる高温になる場所でご使用になる場合  
ご使用にならないときは外して高温にならないところで保管してください。  
また、長時間車から離れる場合は本体をホルダーから外し保管してください。  
落下による故障の原因になる場合があります。

## スタンドの取付け方法

運転中に前方の視界や、エアバックなどの妨げにならないようにダッシュボード上などに取付位置を決めます。

### ①吸盤ベース板の貼付け

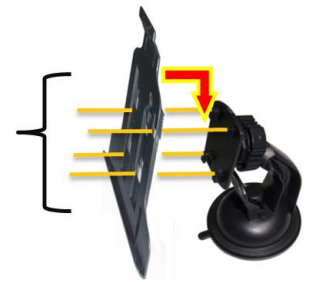
貼付面のほこりや油分などをきれいにふき取り、両面テープの台紙をはがし取付面に強く押し当てる。  
(貼付け後は24時間以上置いてください。)



### ②スタンドの組立て

- デバイスホルダーの4個の穴にスタンドのフック部を入れる。
  - スタンドのフック部にカチッとロックするように、デバイスホルダーを矢印の方向に両手でスライドさせる。
- ※デバイスホルダーは強度上ロックを強くしています。スライドさせる際は強め押してください。
- ※デバイスホルダーとスタンドが組立てて納入されている場合は、フック部がしっかりロックされていることを確認下さい。
- ※デバイスホルダーをスタンドから外してお使いの際は逆方向に両手でスライドさせてはすしてください。

ホルダーの穴をスタンドのフックに合わせる。



デバイスホルダーを矢印の方向にスライドさせる。

### ③スタンドの固定

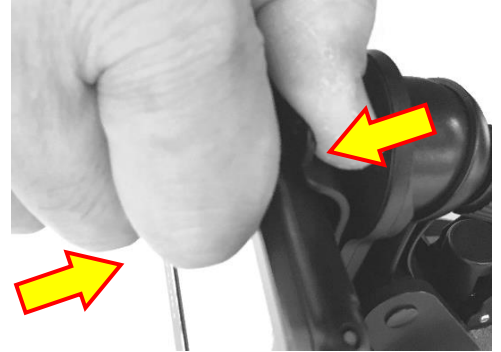
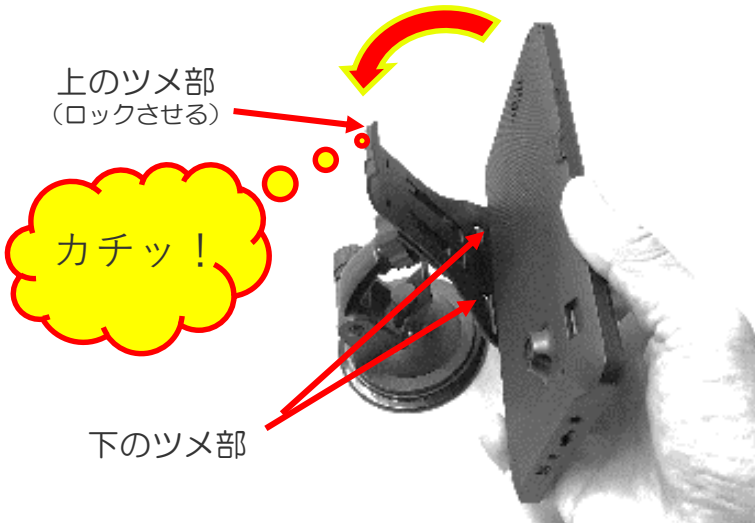
吸着ベースの表面をきれいにふき取りスタンドを置き、レバーを倒して固定する。



※形状、イラストは実物と異なる  
ことがあります。

#### ④製品の固定

スタンドの下のツメに合わせ製品本体をカチッとロックする。  
(上のツメがカチッとロックしたことを確認してください。)



※上のツメを親指で、はさむように強く押ししてください。  
液晶パネル面には触れないようにしてください。

下のツメ部を合わせ上をロックする。

#### ⑤角度調整

固定ナットをゆるめ、  
お好みの角度に調整して  
固定ナットをしめる。



#### ⑥設置

ドライブレコーダーのカメラの角度、  
見やすい角度になるように角度に調整して、  
製品の下部がダッシュボード面に当たるように  
固定ロックナットを締めてください。

製品が動かない程度にしめてください。  
(過度にしめすぎないようにしてください  
ロック機構が壊れる場合があります。)



## 《 注意 》

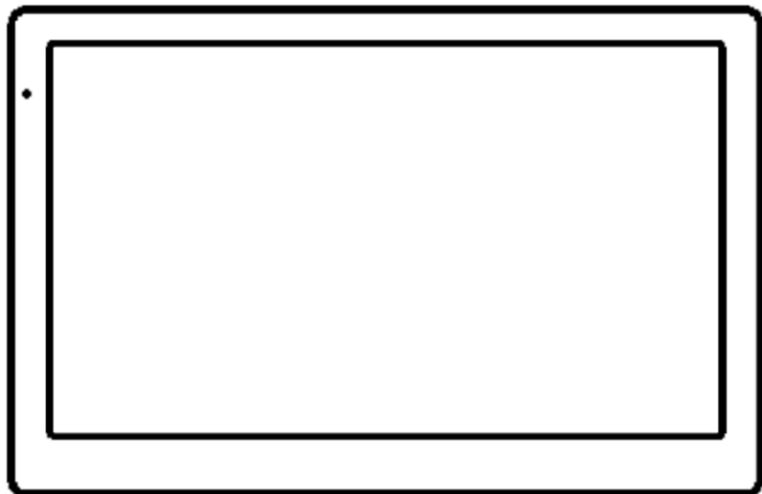
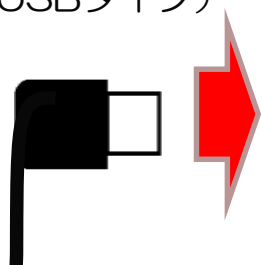
運転前に必ず、吸盤、固定ナット、粘着テープ、ロックが  
確実に取付いているか確認の上ご使用ください。

※万が一、落下等による液晶、タッチパネルの破損がございましたも、  
補償対象外となりますのであらかじめご了承願ください。

## 電源配線の方法

- ①DC電源アダプターの端子側面の電源ソケット（miniUSBタイプ）に接続する。

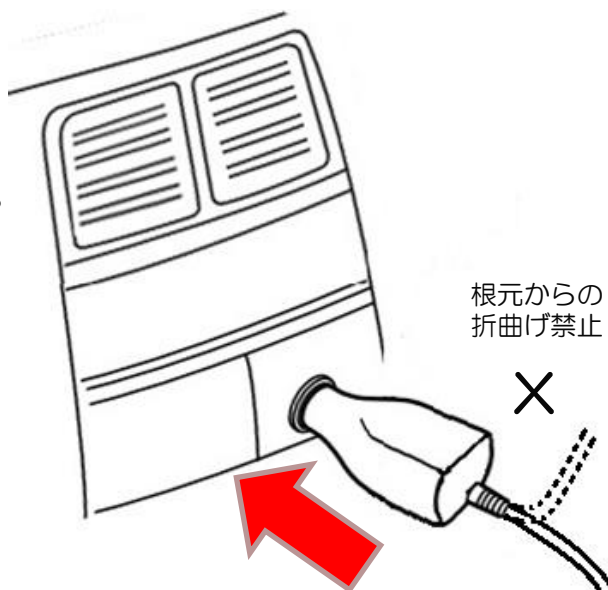
充電用端子  
（miniUSBタイプ）



※本体への接続時、ソケットにストレスがかからないように接続してください。  
プラグやソケットの接続不良になる場合があります。

- ② DCアダプターを  
車のシガーソケットにさす。

※シガーソケットの中に異物がないことを確認してから挿入してください。  
※DCアダプターは真直ぐにゆっくりさしてください。  
※奥までしっかりとさして下さい。  
※配線は運転に支障がないように配線してください。



根元からの  
折曲げ禁止

車載用DCアダプター

※配線する場合は、アダプターの根元から折り曲げないようにしてください。  
断線、発火の原因になることがあります。

※形状が異なる場合がございます。



# 7. 本体電源の取扱方法

電源のON/OFFの操作方法について。

## 1. 車載用DCアダプターの使い方

本機は、お車のシガーソケット（DC12Vまたは24V）より付属アダプターを使用して、本体に5Vを供給し駆動します。

## 2. イグニッションキー連動電源ON/OFF機能について

本機は、電源の連動ON/OFF機能（オートスタート機能）を搭載しています。お車のシガーソケットに接続した場合、イグニッションキーのON/OFFで本体の電源も自動的にON/OFFができていへん便利です。

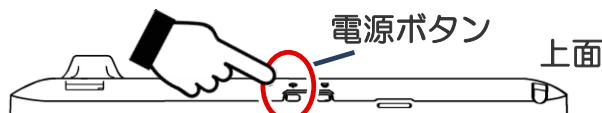
※シガーソケットの電源ON/OFFがイグニッションキーに連動しているお車に限ります。

※アイドリングストップ車の場合、エンジン再始動時に電源がオフする場合がございます。

## 3. 電源の入れかた／切りかた

### <電源を入れるとき>

- ①電源ボタンを長押しする。  
（約3秒間押し続ける。）
- ②起動画面が表示されます。
- ③しばらくすると設定メニューが表示されます。



起動画面



設定メニュー

### <電源を切るとき>

- ①電源ボタンを長押しする。  
（約3秒間押し続ける。）
- ②終了画面が表示され、約5秒後に自動的に切れます。
  - ・「電源オフ」を押すとすぐに電源が切れます。
  - ・「スタンバイ」を押すとスタンバイモードになり再度電源を入れるとき早く立ち上がります。
  - ・「キャンセル」を押すと元の画面に戻ります。



スタンバイ

電源オフ

キャンセル

※ナビ使用時に電源ボタンを短押しした場合、メニュー画面に戻りますが、他のモードに切り替える場合はナビを終了してから切り替えてください。

## 4. 充電のしかた

- ①車載用DCアダプターを接続します。
- ②電源ボタンOFFにして充電を開始します。（フル充電時間約4時間）
  - ※OFF状態の場合は、ランプは点灯しません。電源を入れ緑ランプが点灯すれば充電は完了です。赤ランプが点灯の場合は、満充電ではありません。
  - ON状態では、赤ランプから緑ランプに変われば、充電は完了です。

※充電残量が0になった場合、アダプターをつないでも電源が立ち上がらない場合があります。  
その際は電源OFF状態で、充電を十分におこなってから電源をいれてください。

# 8. ワンセグTV

## 8-1. チャンネル設定（スキャン操作）

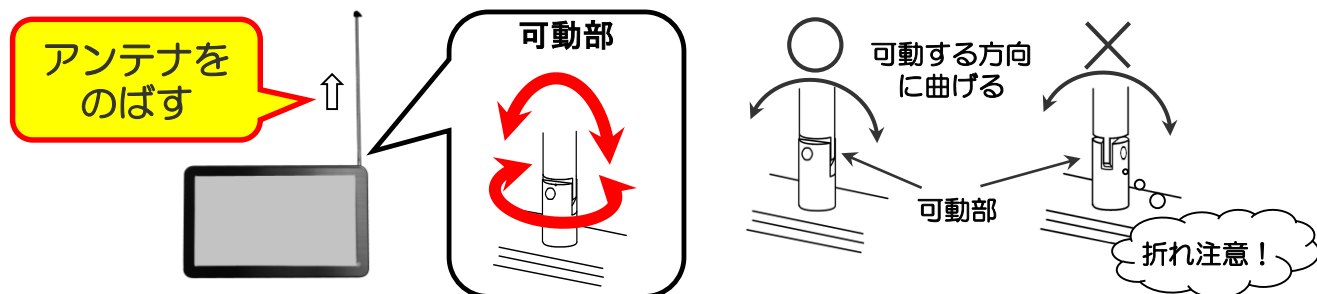
はじめてテレビをご覧になる前に、下記の方法でチャンネル設定を必ず行ってください。

①見晴らしの良く受信環境の良いところでアンテナをのばす。

アンテナは上部右側に収納されています。

引き出すときは、まっすぐにゆっくりと可動部が出るまで引き出して下さい。

しまうときも同様にまっすぐにゆっくりと押しこんで下さい。



※アンテナの回転方向を確認の上、向きをかえてください。

### <注意>

※無理にアンテナを動かしますと曲がったり折れたりします。

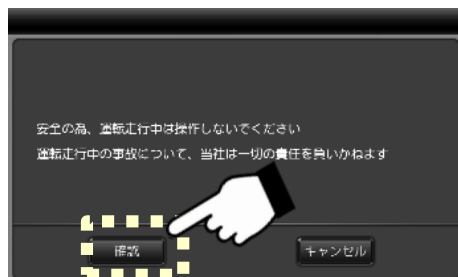
②「テレビ」をタッチ

メニュー画面から「テレビ」をタッチする。



③「確認」をタッチ

警告文が表示されますので内容を理解して、「確認」をタッチする。



④  をタッチ

お近くの受信可能な放送局を設定するためにスキャン操作を行います。

設定後は、地域が変わらなければこの操作は必要ありません。





## ⑤ 「地域」を選択

ご使用される地域を選択します。

(選択せずにスキャンもできますが、地域を選択するとスキャン時間が短くなります。)

※放送協がうまく取れない場合は、「ALL」を選んでスキャンしてください。

### ⑤-1 「地域」をタッチ



### ⑤-2 地域を選ぶ (例 関東をタッチ)



### ⑤-3 都道府県を選ぶ (例 東京をタッチ)



### ⑤-4 地域にある放送局を表示



※スキャン操作後に、実際に受信可能な放送局を表示されます。  
(この時点では受信できない放送局も含まれる場合があります)

## ⑥ 「スキャン」操作

スキャン操作をすることにより、実際に受信可能な放送局をさがし設定します。

※スキャン操作をするときは必ず受信環境のよいところでおこなってください。

受信環境が悪いところでスキャンを行いますと放送局が設定されない場合があります。

### ⑥-1 「スキャン」をタッチ

受信可能な放送局を検索開始します。

### ⑥-2 「適用」をタッチ

スキャン完了後、適用を押すことにより放送局の設定ができます。



チャンネル  
設定完了

スキャンが終わると  
「スキャン完了」  
が表示

お車等で長距離移動の場合、放送局のエリアが変わる為受信できなくなることがあります。  
その際は、再度新しい地域での再スキャン、もしくはALLで再スキャンをおこなってください。

## 8-2. ワンセグTVをみる

### ①チャンネルをかえる

チャンネル変更矢印（▲ ▼）をタッチしてお好みのチャンネルに変更します。

▲：チャンネル（－）

▼：チャンネル（＋）



### ②音量を調節する

・音量変更矢印（＋ ー）をタッチしてお好みの音量に調整します。

＋：音量を上げる

ー：音量を下げる

- ・ ボタンをタッチすると消音 になります。（音はできません。）



## 8-3 ワンセグTVの各種設定

「」をタッチすると、各種設定を変更できます。

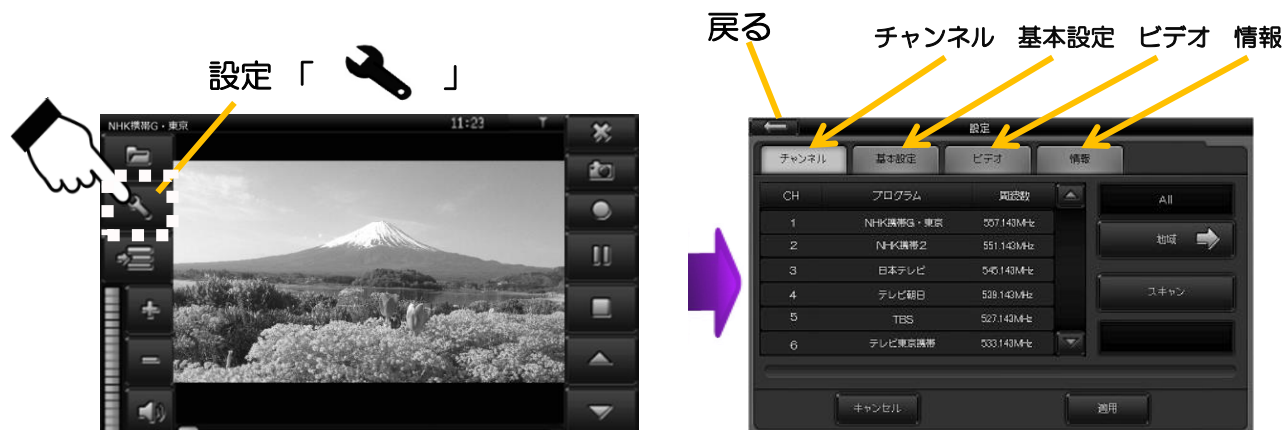
### <設定内容>

チャンネル：スキャン済みの放送局表示

基本設定：言語／音声チャンネル構成／音声スイッチ／字幕

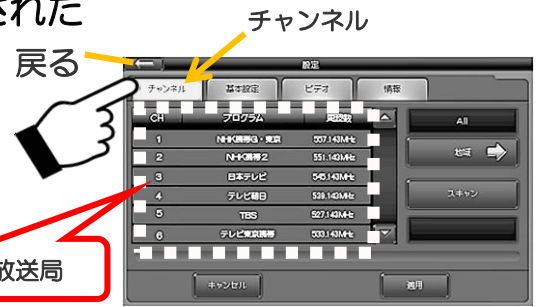
ビデオ：画面のアスペクト比（画面の縦横比）の設定

情報：バージョン情報



# 8-3-1 設定「チャンネル」

「チャンネル」をタッチすると、スキャン後設定された受信放送局が表示されます。



放送局を設定する際は、『8-1. チャンネル設定（スキャン操作）』（16ページ）参照してください。

# 8-3-2 設定「基本設定」

「基本設定」をタッチすると、言語／音声チャンネル構成／音声スイッチ／字幕 の設定ができます。

## 設定の仕方

- ①設定項目の「▼」をタッチします。
- ②現れた選択項目から項目を選びタッチします。
- ③項目が切り替わりします。
- ④選択後、「適用」をタッチします。

## ＜＜言語＞＞

設定画面の言語の切替ができます。

日本語 ⇄ English

- ・日本語 : 設定画面が日本語で表示されます。
- ・English : 設定画面が英語で表示されます。

## ＜＜音声チャンネル構成＞＞

番組プログラムに音声チャンネルがある場合のみ、切換えが可能です。

主音声 ⇄ 副音声 ⇄ 二重音声

## ＜＜音声スイッチ＞＞

放送中の番組プログラムに音声スイッチがある場合のみ、表示が出て切換えが可能です。

オーディオ 1 ⇄ オーディオ 2

※放送番組により、「音声スイッチ」または「音声チャンネル構成」を変えることにより二ヶ国語、副音声、ステレオ音声（ステレオイヤホン使用時）をご利用できます。番組により音声切替方法が違いますので実際に確認の上おたのしみください。

チャンネル変更する時は、オーディオ 1に戻してから切換えてください。  
(電源OFF→ONやテレビ以外の設定に切換えた場合は自動的にオーディオ 1に戻ります。)

## ＜＜字幕＞＞

字幕放送のときに字幕を表示します。

無効 ⇄ 日本語

- ・無効 : 字幕放送時の字幕は画面に表示されません。
- ・日本語 : 字幕放送時の字幕は表示されます。



## 8-3-3 設定「ビデオ」

「ビデオ」をタッチすると、画面のアスペクト比の設定ができます。

### 《アスペクト比》

画面サイズの調整ができます。

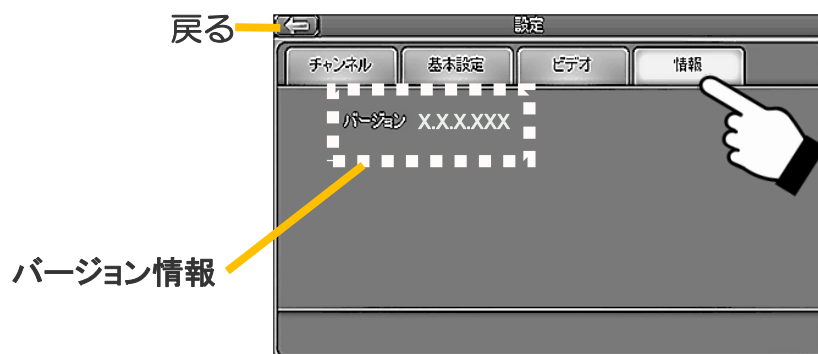
画面サイズ調整 ⇔ レターボックス

- 画面サイズ調整：レターボックス画像の上下の黒枠をなくした画像（上下をのばした画像）
- レターボックス：横長の画面を上下に黒枠が出た状態で表示されます。



## 8-3-4 設定「情報」

「情報」をタッチすると、バージョン情報が表示されます。







# 8-4. ワンセグTV (EPG番組表)

## EPG (電子番組表) をみる


EPG (電子番組表) でその日の番組内容を確認できます。

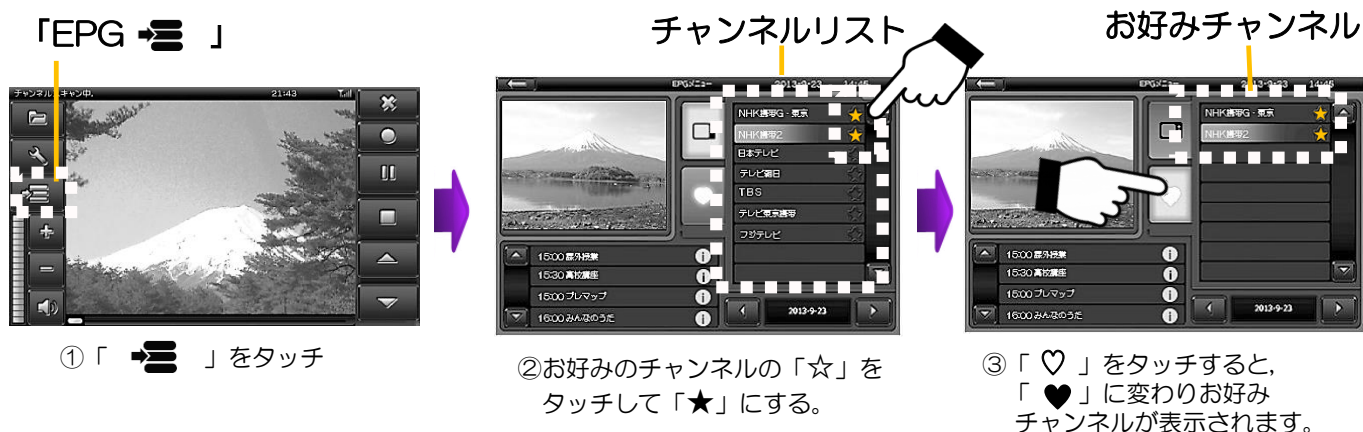
- ① EPG (電子番組表)  をタッチします。
- ②左の番組の中から詳細を知りたい番組の  をタッチすると、番組情報が表示されます。
- ③右の番組予定表をタッチするとその番組の情報が表示されます。



## お好みチャンネル

普段よく見るチャンネルを「お好みチャンネル」(♡)に集めお楽しみいただけます。

- ① 「EPG (電子番組表)  」をタッチします。
- ②右のチャンネルリストからお好みの放送局の右の「☆」をタッチすると「★」に変わり表示されます。
- ③「♡」ボタンをタッチすると「♥」に変わり、お好みのチャンネルのみ表記されます。



# 8-5. ワンセグTV 録画／再生

※機種によりボタンのレイアウトが違う場合があります。

ワンセグTVを見ながらmicroSDカードに動画、静止画を撮ることができます。

## ワンセグTVを録画／再生する

ご覧になっているテレビ番組を、micro SDカードに録画してお楽しみいただくことができます。

- ① 空のmicroSDカードをいれる。※電源を切った状態で入れて下さい。
- ② テレビ画面にして録画したい時に「●」をタッチすると録画が開始します。
- ③ 終了するときは「■」をタッチします。
- ④ 再生するときは、「📁」をタッチし、録画したデータを選び「OK」をタッチする。（放送局名、録画日時がファイル名になります）

※設定の「メディア」の中の「動画」で再生はできません。  
「テレビ」の「📁」からご覧ください。



## TV番組を撮る／再生する

ご覧になっているテレビ番組の静止画を、micro SDカードに撮ることができます。

- ① 空のmicro SDカードをいれる。
- ② 静止画を撮りたい時に「📷」をタッチする。

撮りたい画面のときに「📷」をタッチする

- ③ 再生するときは、「メディア」⇒「写真」⇒SDMMC⇒Recorder⇒Snapshotをタッチし、録画したデータを選び「OK」をタッチする。（放送局名、録画日時がファイル名になります）

※「テレビ」の「📁」の中からは再生はできません。  
「メディア」の「写真」からご覧ください。

# 9. ドライブレコーダー（Dレコーダー）

ドライブレコーダー（Dレコーダー）機能で前方画像をmicroSDカードにビデオ録画することができます。

※本製品には音声録音機能はございません。

録画時間目安はmicroSDカード（8GB）で約1時間です。


その時間以降は順次消去され新しい録画が記録されていきます。

※録画ファイルは、短い時間に区切って（1ファイル約120MB（約1分））複数のファイルに録画されます。

（撮影環境により録画時間は変動します。）

※録画されたデータは、いっぱいになると古いデータから消され上書きされます。

※録画中、下記の場合に録画中のファイルは上書き禁止になります。（保存したいとき、下記操作をする。）








- ・録画中に、上書き禁止ボタン「」をタッチした場合
- ・本製品に衝撃が加わった時（Gセンサーが作動した場合）

## 「ドライブレコーダー」画面の説明

「ドライブレコーダー」画面上のボタンを説明します。

ドライブレコーダー  
の画面




- ① 「」ボタン：（設定モード）：各種設定をする。
- ② 「」ボタン：ドライブレコーダー画面を閉じる。（録画中は録画続行）  
※録画しながらテレビを視聴する場合は、②のボタンでメニュー画面にしてテレビボタンを押してください。
- ③ 「」ボタン：ドライブレコーダー機能を閉じる。（録画は停止）
- ④ 「」ボタン：録画中に押すとその時の録画ファイルのみ上書き禁止に（上書き禁止）になります。動画を残したいときに使用してください。
- ⑤ 「」ボタン：録画モード⇄再生モード切替ができます。  
（録画／再生切替） （再生モードでは録画しません。）
- ⑥ 「OK」ボタン：<録画モード>：録画の開始⇄停止ができます。  
<再生モード>：再生の開始⇄一時停止ができます。
- ⑦ 「」ボタン：<録画モード>：明るさ調整（EV）ができます。（-3～0～3）（上下）  
※再生モードではこのボタンは使用しません。
- ⑧ 「」ボタン：<再生モード>：停止時：録画したファイルを選択します。  
再生時：再生速度調整ができます。  
（1/8x ⇄ 1/4x ⇄ 1/2x ⇄ 1x ⇄ 2x ⇄ 4x ⇄ 8x）  
※録画モードではこのボタンは使用しません



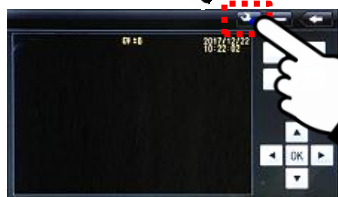
# 9-1 ドライブレコーダー設定

## 設定画面の説明

Dレコーダー設定では、録画時の設定をすることができます。



ドライブレコーダーの画面の設定ボタン「」をタッチすると設定画面に切替ります。

設定ボタン（）をタッチする。



設定画面が表示される。



※録画モードのとき設定ができます。再生モードになっているときは「」で録画モードにしてください。※再生モードで「」をタッチすると音がします。

① **フレームレート**：フレームレートの変更 50Hz⇔60Hzの切替。

信号機は高速で点滅しているためカメラと同期して消灯して録画される場合があります。  
この場合は切り替えてお試しください。（地域により違います。）

② **Gセンサー**：G-センサーの感度調整 1.2G/1.6G/2.0G

衝撃を受けた時、録画中のファイルは上書き禁止になります。

※感度によりmicroSDカードの容量が早くいっぱいになることがありますので  
不要の上書き禁止ファイルを削除してください。


1.2G：軽衝撃で動作します。

1.6G：中衝撃で動作します。


2.0G：強衝撃で動作します。


③ **自動録画**：「」をつけると、自動録画設定されます。

電源がオンすると自動的にスタート録画がスタートします。

※設定を変更するときは  を押して設定変更してください。

④ 「」：設定を変更した状態でドライブレコーダー画面に戻る。

⑤ 「」：設定を変更せず元の状態でドライブレコーダー画面に戻る。

⑥ 「」（初期化）：工場出荷状態に戻します。

⑦ 「**フォーマット**」：ドライブレコーダー用アプリのフォーマット化します。

※初めて使用するmicroSDカードは、必ず初めにこのフォーマットを行ってください。

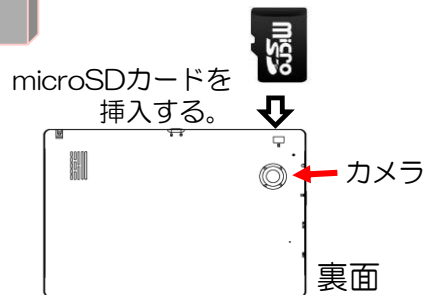
# 9-2 録画の準備

本製品はmicroSDカード8GBクラス6を付属(装着)しています。  
市販のmicroSDカードを使用する場合は、4~32GB クラス6以上の  
microSDカードをお使いください。

## ドライブレコーダー機能の準備

### ①microSDカードを入れる。

電源を切った状態で、市販のmicroSDカードを上面のドライブレコーダー用microSDカードスロットの挿入する。  
※カチッと奥まで入っていることを確認してください。  
(表裏が逆に挿入すると奥まで入りません。)



### ②「ドライブレコーダー」に設定する。

電源を入れメインメニューからドライブレコーダー (Dレコーダ) アイコンをタッチするとドライブレコーダー (Dレコーダ) の画面が表示されます。

「Dレコーダ」をタッチ



「Dレコーダ」の画面を表示



## microSDカードの設定 (フォーマット)

はじめて録画する場合microSDカードを専用フォーマットする必要があります。  
下記に沿って、カードをフォーマットしてください。  
一度フォーマットしたカードは、再度フォーマットの必要はありません。  
(未フォーマットの場合「Card not formatted」と表示されます。)

### <注意>

- フォーマットは必ず付属のDCアダプターで**通電状態**で行ってください。
- フォーマット中は電源を切ったり、他の操作を行なったりしないでください。  
※途中で電源が切れたり強制的に終了した場合、microSDカードが壊れることがあります。

### ① microSDカードのフォーマット

- 電源を切った状態で、microSDカードを本体に挿入します。
- ドライブレコーダー画面の設定ボタン「」を押し設定画面にする。
- フォーマットボタンを押しフォーマットをする。
- 「はい」を押すとフォーマットされる。
- フォーマットが完了すると、ドライブレコーダーの画面に戻ります。



# 9-3 録画をする

※ドライブレコーダー専用フォーマットされたmicroSDカードが入っていることを確認

## 手動で録画をする場合

### ①「OK」を押す。

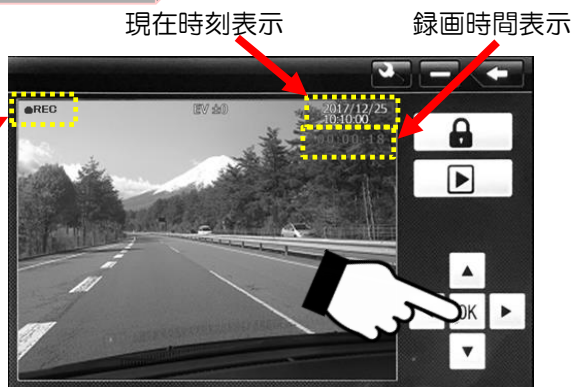
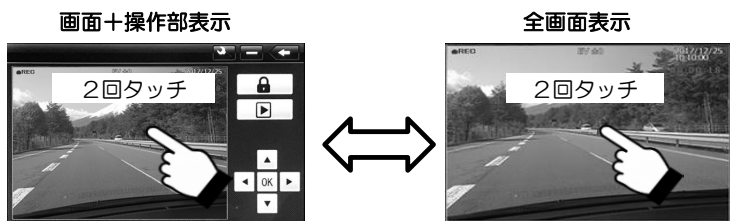
右上に「●REC」が赤点滅し録画が開始します。

現在時刻が黄色文字で点灯します。

録画時間が赤字で表示されます。

※映像画面を2回タッチすると映像が全画面表示になります。

再度2回タッチすると元の画面に戻ります。



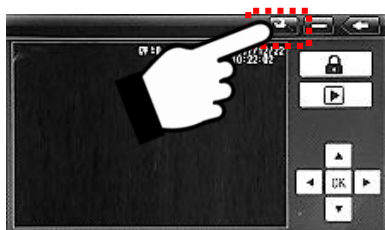
## 自動で録画をする場合

「自動録画」に設定すると、電源が入った時に常に録画を開始します。

自動録画オフ時は、上記録画設定時のみ録画状態になります。

①設定「」ボタンを押し設定画面にする。

②「自動録画」ボタンを押し「✓」をつけ「」ボタンを押しして設定を変更してください。



設定「」を押す



「自動録画」を押す

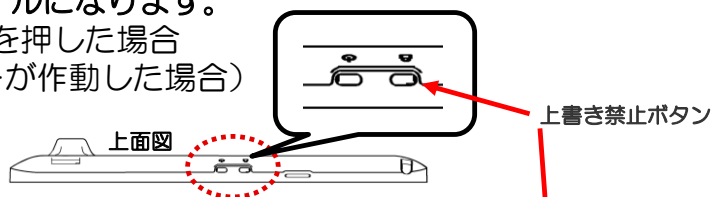
## 上書き禁止録画について

本機種は、録画されたデータはmicroSDカードの容量がいっぱいになると古いデータから消され上書きされます。

ただし、下記操作、状態で上書き禁止ファイルになります。

① 録画中に、上書き禁止ボタン「」を押した場合

② 本製品に衝撃が加わった場合（Gセンサーが作動した場合）



(黄) : 上書きボタンを押した場合



(青) : Gセンサー（衝撃）が加わった場合




(赤) : Gセンサーかつ上書きボタンを押した場合



# 9-4 再生する

本機種で撮影録画した動画を下記の方法で再生することができます。

## 本製品で再生する場合

- ① 録画/再生切替「」を押し再生画面に切替える。  
再生画面に切替り、一時停止状態になる。
- ② 「OK」ボタンを押すと再生し始めます。  
一時停止状態になっているので「OK」ボタンを押すと再生し始めます。  
再度「OK」ボタンを押すと一時停止になります。

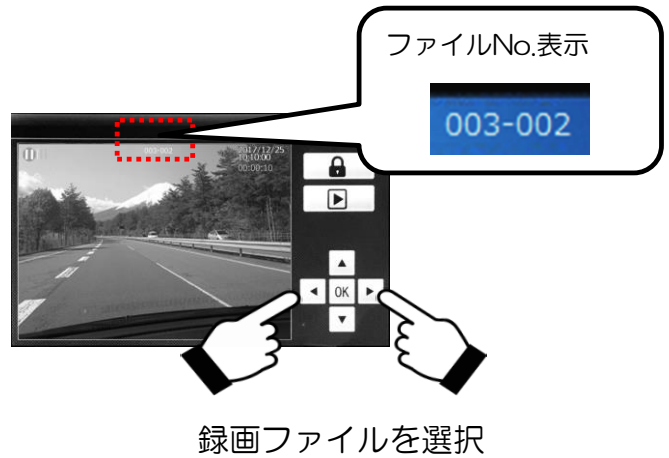


- ③ 一時停止状態で「 」ボタンを押すと録画ファイルが選択できます。

選択後、「OK」ボタンを押すと再生します。

《ファイルNo.表示について》

前3桁数字：電源オン/オフする毎に番号が上がります。  
後3桁数字：約120MB（約1分）ごとにファイルが  
作られ番号が上がります。



- ④ 再生状態で「 」ボタンを押すと再生速度が変わります。

《変化速度》

1/8x⇔1/4x⇔1/2x⇔1x⇔2x⇔4x⇔8x



## パソコンで再生する場合

本機で録画したmicroSDカードをパソコンで再生する場合は、microSDカードに保存されている専用ビューアで再生してください。  
一般の動画再生プレーヤでは再生できません。

### ●動作環境

対応OS	Windows 7/8/8.1/10
CPU	Intel Pentium4 2.4GHz以上
メモリー	1GB以上
HDD空き容量	1GB以上
ディスプレイ	XGA (1024 x 720pix) 以上
その他	microSDカード接続可能なこと

※上記条件を満たしたパソコンについて動作を保証するものではありません。

※ご使用の環境によっては正しく動作しない場合があります。

### <設定方法>

①パソコンにmicroSDカードを差す。(microSD対応していない場合は市販のカードリーダーをご使用ください。)

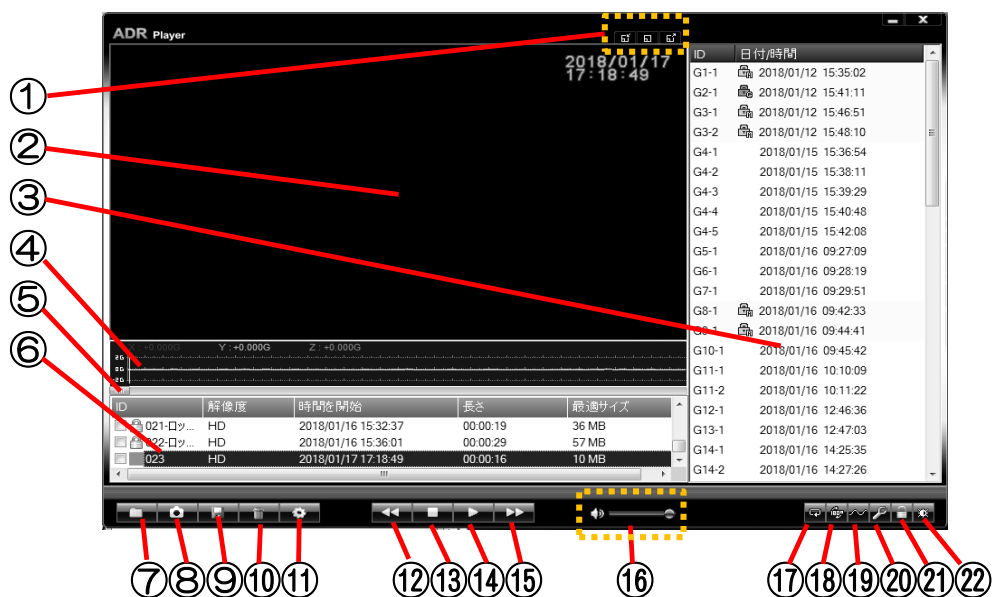
②microSDカードを読み取り、「ADRPlayer」をひらく。  
ADRPlayerを開くと下記画面作面が表示されます。

### 操作画面





## <操作画面の説明>



表示



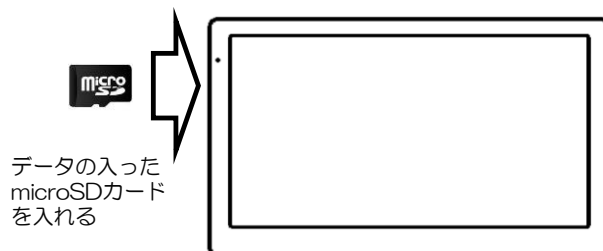
- ① 画面表示サイズ調整：ビューア表示サイズを変更できます。
- ② 再生画面：録画した再生画面を表示します。
- ③ ファイルリスト：読み込んだファイルを表示します。
- ④ Gセンサー：録画した時の衝撃度(G値)をグラフ表示します。
- ⑤ 再生進捗バー：再生時の進み具合を表示します。
- ⑥ 録画リスト：録画を開始した日付/時間のリスト表示します。
- ⑦ ファイル取込み：ファイルを取り込みます。  
(本機で録画されたデータはmicroSDを開くとリストに自動的に表示されます)
- ⑧ スナップショット：ビューアで表示した画面を静止画として保存できます。
- ⑨ 保存：動画ファイルをAVI形式に変換して指定の保存場所に保存できます。  
リストからファイルを選び、保存ボタンを押し保存先を指定する。
- ⑩ 削除：動画ファイルを削除します。リストからファイルを選び、IDもしくは全部削除を「」チェックし削除ボタンを押すと削除されます。
- ⑪ 設定：microSDカードのフォーマット、ビューアの言語設定等の設定を行います。
- ⑫ 再生速度調整(遅)：再生速度を遅くします。(調整範囲：X1/2~1/5)
- ⑬ 停止：再生を停止します。
- ⑭ 再生/一時停止：選択されたファイルを再生/一時停止をします。
- ⑮ 再生速度調整(早)：再生速度を早くします。(調整範囲：X2~X5)
- ⑯ 音量調整：本製品で録画した動画には音声はありません。
- ⑰ リピート：再生しているファイルをリピート(繰り返し再生)オン/オフ切替えます。
- ⑱ 上下反転：画像を上下反転させます。
- ⑲ G値表示：Gセンサーのグラフを表示/非表示切り替えます。
- ⑳ ビデオリペア：壊れたファイルが修復できる場合があります。  
(ファイル状況により修復できない場合があります。)
- ㉑ ファイルアンロック：上書き禁止されたファイル選び、IDもしくは全部アンロックを「」チェックしアンロック(削除)します。
- ㉒ 色調整：再生画面の明るさ/コントラスト/色合いの調整ができます。

# 10. メディア

本メディア機能ではパソコンなどからmicroSDカードにいった動画、音楽、写真をお楽しみいただけます。

## ①音楽などの入ったmicroSDカードをいれる。

パソコンなどからお好みの動画、音楽、写真のデータを入れたmicroSDカードを側面に入れる。



## ②「メディア」機能にする

メインメニューから「メディア」アイコンをタッチしてお好みの動画、音楽、写真 お選びください。



メディアメニュー（選択画面）

## ③お好みのメディア内のソースを再生する。

動画、音楽、写真の再生可能な条件は下表のとおりです。

	再生可能データ フォーマット	ビットレート	解像度	フレームレート
音楽	MP3	320kbps	/	/
	WMA	64kbps	/	/
動画	MPG	1500kbps	320x240 以下	25fps
	AVI	1500kbps	480x272 以下	30fps
	WMV	1500kbps	480x272 以下	30fps
	ASF	285kbps	320x240 以下	25fps
写真	JPG、BMP	/	2560x1600 以下	/

※上記の条件であってもカードによっては、再生できない場合がございます。その際は、カードを変えてご使用ください。



# 10-1.動画

パソコンなどからmicroSDカードに入れた動画(ビデオ)をお楽しみいただけます。

## 動画 を選ぶ

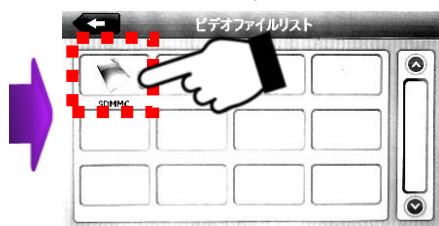
※動画の入ったmicroSDカードが入っていることを確認してください。

- ① メディアメニューから「動画」アイコンをタッチします。
- ② 「SDMMC」をタッチします。  
(さらにホルダーがあるときは選び、動画を表示してください。)
- ③ お好みの動画を選んでタッチし、更にタッチすると動画再生が始まります。

メディアメニュー (選択画面) ※動画ファイル一覧と表示 (ビデオファイルリストの箇所)



「動画」をタッチ



「SDMMC」をタッチ



見たい「動画」をタッチ

## 動画 をみる

操作画面で 動画 の再生の操作を行います。

	前の画面に戻る。		「動画ファイル一覧」画面に戻る。
	一時停止/再生を切替える。		次の動画に進む。
	丸い音量調整ボタンの左右をタッチして音量を調整する。		丸い音明るさ調整ボタンの左右をタッチして音明るさを調整する。



※本機で再生出来る動画のサイズは標準画質 (SD) までです。高画質 (HD) には対応していません。  
※動画データによっては本機で再生出来ないものもあります。  
※microSDカードによっては、再生されないこともあります。

# 10-2. 音楽

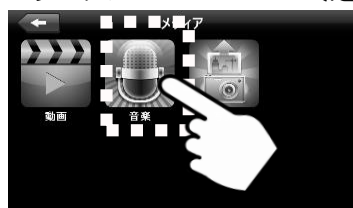
パソコンなどからmicroSDカードに入れた音楽をお楽しみいただけます。

## 音楽を選ぶ

※音楽の入ったmicroSDカードが入っていることを確認してください。

1. メディアメニューから「音楽」をタッチします。
2. 「SDMMC」をタッチします。  
(さらにホルダーがあるときは選び、音楽を表示してください。)
3. お好みの音楽を選んでタッチすると、音楽再生が始まります。

メディアメニュー（選択画面） ※音楽ファイル一覧と表示（ミュージックファイルリストの箇所）



「音楽」をタッチ



「SDMMC」をタッチ



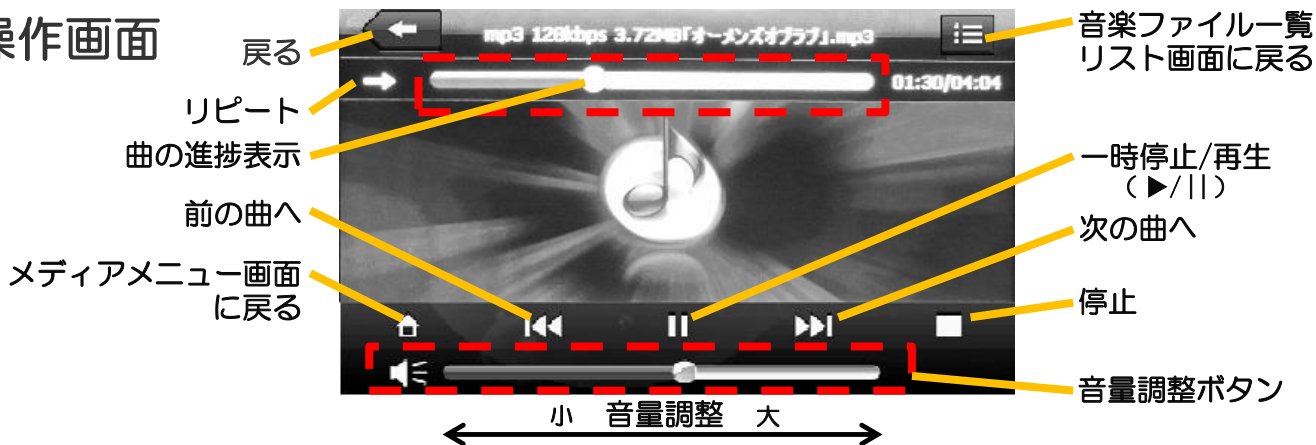
聞きたい「曲」をタッチ

## 音楽を聴く

操作画面で曲の再生の操作を行います。

	前の画面に戻る。		「音楽ファイル一覧」画面に戻る。
	メディアメニュー画面に戻る。		丸い音量調整ボタンの左右をタッチして音量を調整する。
	前の曲に戻る。		次の曲に進む。
	一時停止/再生を切替える。		停止する。
	<ul style="list-style-type: none"> <li> リピート無 : リピート無で再生します。</li> <li> シングルリピート : 一曲のみ繰り返し再生します。</li> <li> フルリピート : 全曲繰り返し再生します・。</li> <li> ランダムリピート : ランダムで再生します。</li> </ul>		

### 操作画面



※音楽データによっては本機で再生出来ないものもあります。予めご了承ください。  
 ※メディア（音楽、ビデオ、フォトアルバム）の入ったmicroSDカードは、ドライブレコーダー用の挿入口には入れないでください。データが消去されることがあります。

# 10-3. 写真

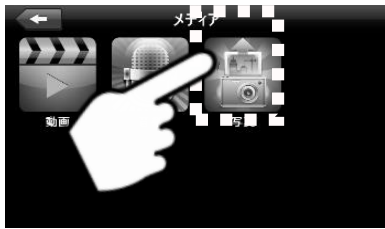
パソコンなどからmicroSDカードに入れた「写真」をお楽しみいただけます。

## 写真を選ぶ

※写真の入ったmicroSDカードが入っていることを確認してください。

1. メディアメニューから「写真」をタッチします。
2. 「SDMMC」をタッチします。  
(さらにホルダーがあるときは選び、写真を表示してください。)
3. お好みの写真を選んでタッチすると写真画像が表示されます。

メディアメニュー（選択画面）※写真一覧と表示（フォトリストの箇所）



「写真」をタッチ



「SDMMC」をタッチ



見たい「写真」を  
タッチ

## 写真をみる

操作画面で写真の画像操作を行います。

	前の画面に戻る。		「写真一覧」画面に戻る。
	画面を拡大する。		画面を縮小する。
	一つ前の写真に戻る。		次の写真に進む。
	画面を右に90° づつ回転する。		写真画像を全画面表示にする。 (画面をダブルタッチで元画面に戻る)
	スライドショーにする。 (約5秒起きに写真が変わり、画面をダブルタッチするとスライドショーは終了します。)		

戻る



写真一覧  
画面に戻る

拡大

縮小

右90° 回転

全画面表示

スライドショー

戻る

進む

# 11 設定

メインメニューから「設定」アイコンをタッチします。  
各メニューのアイコンをタッチして各種の設定ができます。

「」をタッチすると、設定画面に戻ります。

設定画面







設定のメニュー画面



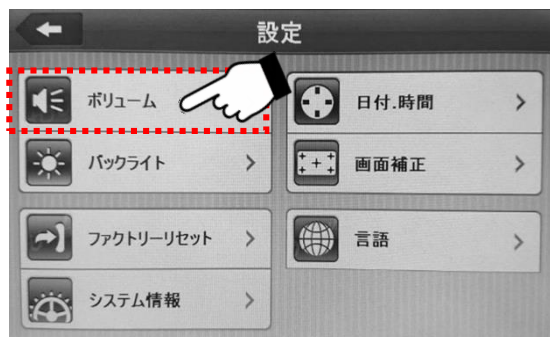
## 11-1 ボリューム設定

ボリューム設定で音量やタッチ音の調整ができます。

1. 「設定」内の「ボリューム」をタッチする。
2. ボリュームの「 」をタッチして音量を調節する。
3. スクリーンタッチ音の「 」をタッチしてタッチ音を調整する。  
( OFF / 小 / 大 )

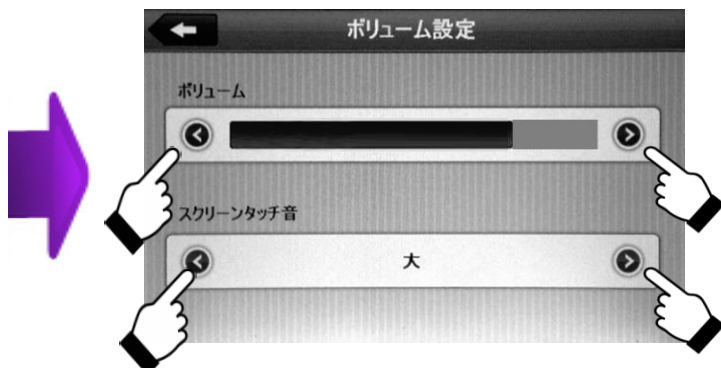
設定のメニュー画面

1. 「ボリューム」をタッチ



ボリューム設定の画面

2.3. 「 」で調整







# 11-2 バックライト 設定

バックライト設定で画面の明るさ、パワーセーブモードを設定。

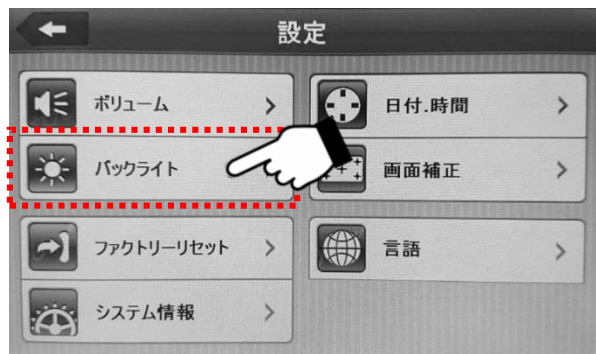
※パワーセーブモード：設定時間後に画面が暗くなり、バッテリーの消費を減らします。

1. 「設定」内の「バックライト」をタッチする。
2. バックライトの「 

（常にON／10秒後にOFF／20秒後にOFF／30秒後にOFF／1分後にOFF／10分後にOFF設定ができ、画面を表示する場合は画面をタッチしてください。）

設定のメニュー画面

1. 「バックライト」をタッチ



バックライト設定の画面

- 2.3. 「 



# 11-3 日付・時間 設定

日付.時間の設定メニューで西暦、日付、時間、および地域の設定。

1. 「設定」内の「日付.時間」をタッチする。
2. 現在の西暦、月、日、時間、分を「▲ ▼」のタッチで設定する。
3. 地域の「 

設定のメニュー画面

1. 「日付. 時間」をタッチ



日付.時間設定の画面

- 2.現在の日付. 時間に設定



- 3.地域を選択



# 11-4 タッチ画面補正 設定

画面補正の設定でタッチ画面の位置補正を行います。

※白画面が表示されたときは、下記操作を行ってください。

1. 「設定」内の「画面補正」をタッチする。
2. 実行の確認の画面で「はい」をタッチする。
3. 下記の通りに画面に従ってタッチ位置を補正する。
  - ①画面の中央にある「+」の中心をスタイラスペンなどでタッチしてください。その際「+」が動くまでタッチし続けてください。（1秒以上）  
「+」が左上に移動します。移動したらタッチを離して下さい。
  - ②次に左上に移動した「+」の中心をタッチし続けてください。  
左下に移動したらタッチを離してください。
  - ③同様に続けてください。「+」は長押しして  
**中央→左上→左下→右下→右上**  
の順で移動し終了します。
  - ④+が右上に移動したら+を長押しして、最後に画面をタッチし設定画面に戻れば設定完了となります。

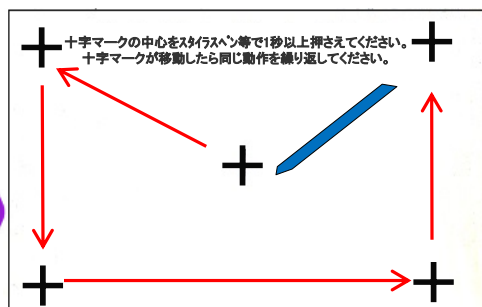
1. 「画面補正」をタッチ



2. 「はい」をタッチ



3. 「+」を長押し 移動後、次の「+」を再度長押し

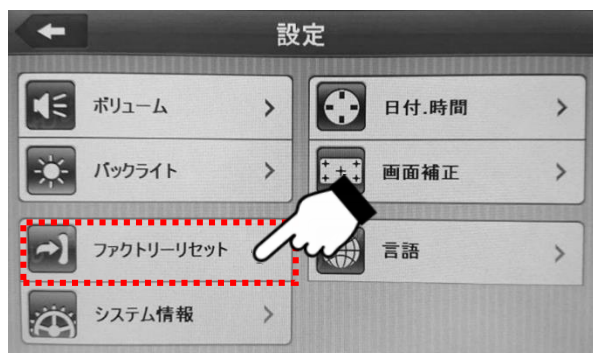


# 11-5 ファクトリーリセット

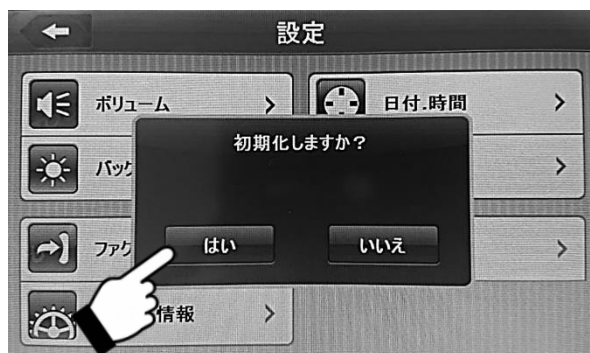
設定を工場出荷時の状態に初期化します。

1. 「設定」内の「ファクトリーリセット」をタッチする。
2. 「はい」をタッチすると初期化します。  
※しばらくすると起動画面に切り替わり、設定メニュー画面が表示されます。

1. 「ファクトリーリセット」をタッチ





2. 「はい」をタッチ

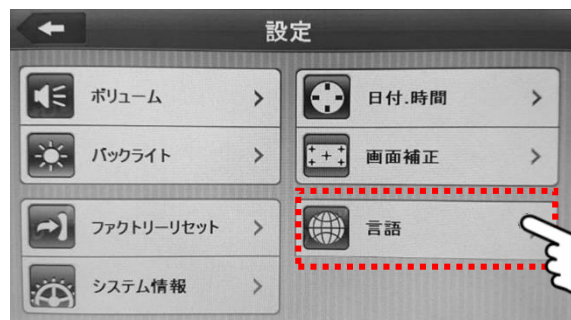


# 11-6 言語設定

設定メニューの言語を日本語／英語(English)に切替えることができます。

1. 「設定」内の「言語」をタッチする。
2. 「 

1. 「言語」をタッチ



2. 言語を選ぶ



# 11-7 システム設定

※この機能は、製造上の管理に使用するための機能で、お客様のご使用には関係ございません。

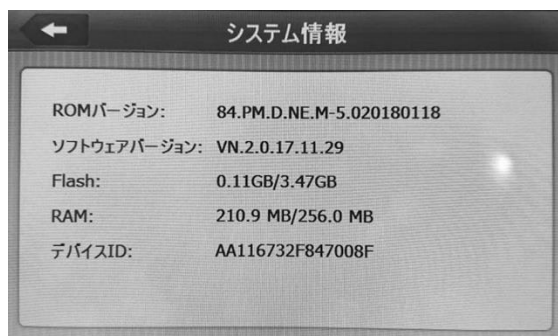
本製品のシステムリソースの確認する機能です。

1. 「設定」内の「システム情報」をタッチする。
2. システム情報が表示されます。

1. 「システム情報」をタッチ



2. システム情報



※実際の表記とは異なります

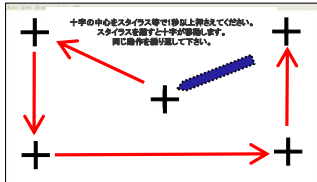
# 12.仕様

項目		仕様
液晶	種類	液晶：TFT バックライト：LED
	サイズ（インチ）	7インチ
	解像度/視野角	800×480 pixel / 上15° 下30° 左右45°
	輝度	200 cd/m <sup>2</sup>
タッチパネル		感圧式
CPU		MSB2531 ARM Cortex-A7 800MHz
内蔵メモリ		Flash 4 GB
音声出力		スピーカー 8Ω 1W
入出力端子	イヤホン端子	Φ3.5mmステレオミニジャック
	microSDカード	メディア用：対応32GB以下 ドライブレコーダー用：対応32GB以下 (クラス6以上)
	再生動画フォーマット	ASF/AVI/WMV/MPG
	再生音楽フォーマット	MP3/WMA
	再生画像フォーマット	JPG/BMP
TV	TV受信	ワンセグ (473-767MHz)
	録画機能	録画可能
カメラ	画素数	100万画素
	画角	水平 105° 垂直 60°
その他	エンジンon/off連動機能	アクセサリ電源がエンジンキーのOn/off連動車
電源	電圧	DC5V miniUSB入力端子
	消費電力(W)	3.5W
	待機時消費電力	20mW以下
内蔵バッテリー	種類	リチウムイオンポリマー
	容量(mAh)/電圧(V)	1600mAh / 3.7V
	駆動時間	約1時間
	充電時間	約4時間
サイズ		約175×110×20mm
質量		約270g
動作温度		0~40℃
保存温度		-10~60℃
付属品		ドライブレコーダー用microSDカード 8GB 車載用DCアダプター(DC12-24V) 車載用吸盤スタンド※スタイラスペン装着 吸盤ベース板 取扱説明書

\*仕様及びデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

# 13. 困った時には

修理を依頼する前に、以下のことを確かめてください。

電源・バッテリーについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源が入らない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バッテリー残量が少ない可能性があります。十分充電してから電源をいれてください。(充電中はランプが赤点灯します。青点灯で充電完了)</li> <li>ハードリセットを行い、再起動を確認してください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>バッテリーの持続時間が短い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バッテリーの寿命の可能性があります。サポートセンターにご相談ください。</li> </ul>
本体について	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面が暗くて見えない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定で暗くなっている可能性があります。明るさを調整してください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面が消える／映らない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動OFF設定が設定されている可能性があります。設定を解除してください。</li> <li>設定→バックライト設定→自動OFF設定を「常にON」にする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>タッチパネルの反応が悪い。ボタンが押せない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護フィルムをはがしてください。</li> <li>タッチポイントの位置がずれている可能性があります。設定の画面補正で修正してください。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面が真っ白になる。(画面補正の画面になる)</li> </ul>	<p>※画面補正画面の指示に従い「+」をタッチし続けてください。(「+」を長押しして、移動したら次の「+」を長押しします。)</p> 
	<ul style="list-style-type: none"> <li>音が出ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音量ボリュームを確認してください。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>テレビが受信できない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンテナを伸ばして下さい。</li> <li>受信環境の良いところに移動してください。</li> <li>スキャンを行い受信可能な放送局を設定してください。</li> </ul>	